

問題 D

問 1 次の文で誤っているものを選びなさい。

1. ベッド上リクライニング位60度とは、床からの角度が60度という意味である
2. 頸部前屈とは、頭部体幹を側面からみて、肩一耳攻を直線に結んだ線と体幹とのなす角度で示す
3. 頸部前屈の正常可動域は0～90度である
4. 頸部後屈の正常可動域は0～50度である
5. 頸部可動域は、咀嚼や嚥下運動、あるいは摂食時の姿勢、嚥下時の呼吸コントロール等に影響する

問 2 嚥下検査について正しいものを選びなさい。

1. 改訂水飲みテスト(MWST)において3mlの常温の水を使用する
2. 改訂水飲みテスト(MWST)において水は舌背に注ぐ
3. 窪田式水飲みテストにおいて100mlの常温の水を使用する
4. フードテストにおいてゼリー嚥下後の湿性嘔声は喉頭侵入または誤嚥を疑う
5. 嚥下造影検査はレントゲン技師と言語聴覚士2人だけで実施しても良い

問 3 発声発語器官検査(AMSD)について誤っているものを選びなさい

1. 発声持続時間(a:発声)は15秒以上で評価3(良好)である
2. 大項目①呼吸機能、②発声機能、③鼻咽腔閉鎖機能、④口腔構音機能の4項目からなる
3. 舌の左右移動の交互反復運動速度も調べる
4. ブローイング時の鼻漏出は調べない
5. (削除しました)

問 4 嚥下訓練・食事指導について誤っているものを一つ選びなさい。

1. 喉のアイスマッサージは持続効果は低いが即時効果があるので食事前に行う
2. シャキアエクササイズは定義通りに行うと患者さんに負担がかかるので注意する
3. ブローイング訓練など患者さんの趣向を取り入れ楽しく持続するように工夫しても良い
4. 嚥下訓練を実施する際は吸引器を準備するなどリスク管理に努める
5. 嚥下障害者は自力摂取可能であっても誤嚥を予防するため、姿勢に注意し出来る限り食事介助を行う

問 5 正しい組み合わせはどれか選びなさい。

1. 鼻咽腔閉鎖 …… 改訂水飲みテスト
2. 声門閉鎖 …… 反復唾液嚥下テスト
3. 食塊形成 …… 嚥下圧検査
4. 喉頭拳上 …… 嚥下内視鏡検査
5. 食道入口部開大 …… 嚥下造影検査

問題 D

- 問 6 プッシング・プリング訓練について書いた次の文で誤っているものを選びなさい。
1. 上肢に力を入れる運動により、反射的に息こらえが起こることを利用する
 2. 軟口蓋の拳上を改善させることを目的にしている
 3. 声帯を改善させることを目的とした訓練である
 4. 食道入口部の開大を目的とした訓練である
- 問 7 スクリーニングテストについて書いた次の文で正しいものを選びなさい。
1. RSSTでは、示指で舌骨、中指で甲状軟骨を触知した状態で、空嚥下時の喉頭の動きを確認する
 2. RSSTでは、1分間に何回空嚥下が行えるかを数える
 3. RSSTでは、喉頭隆起が完全に中指を乗り越えなくても1回と数えて良い
 4. 改定水飲みテストは10ミリリットルの冷水を嚥下させ、咽頭期障害を評価する方法である
 5. 改定水飲みテストは、冷水を口腔底に素早く入れて嚥下するように指示する
- 問 8 舌前方保持嚥下訓練(舌突出嚥下訓練)について書いた次の文で誤っているものを選びなさい。
1. 本法は、咽頭収縮筋に対する間接訓練法として考案された
 2. 咽頭収縮筋は、嚥下時には咽頭腔を狭める、いわゆる蠕動様収縮運動を行って食塊移送に関与する
 3. 本法施工時は舌が後方に固定される
 4. 嚥下動作時に、舌根部に起始の一部をもつ上咽頭収縮筋に負荷がかかり、同筋の筋力強化が期待できる
- 問 9 摂食機能療法について誤っているものを選びなさい
1. 嚥下訓練を1回につき20分以上実施した場合、185点を算定できる。
 2. 言語聴覚士が嚥下訓練を行った場合に算定できる。
 3. 看護師、准看護師が嚥下訓練を行った場合に算定できる。
 4. 歯科衛生士が嚥下訓練を行った場合に算定できる。
 5. 理学療法士又は作業療法士が嚥下訓練を行った場合に算定できる。
- 問 10 頭部拳上訓練(シャキア・エクササイズ)について書いた次の文で正しいものを選びなさい。
1. 舌骨上筋群など喉頭拳上に関わる筋の筋力強化を行う
 2. 喉頭の上方向運動を改善する
 3. 食道入口部の収縮を図る
 4. 口腔内残留を少なくする効果がある

問題 D

問 11 舌接触補助床(PAP)を用いたリハビリテーションが有効な障害どれか2つ選びなさい。

1. 舌垂全摘術後の構音障害
2. 高次能機能障害による構音障害
3. 脳血管障害の嚥下障害
4. 多数歯疾患のための咀嚼障害
5. 失語症による構音障害

問 12 飲食物の喉頭流入を確認できるのはどれか組み合わせを選びなさい。

- a. 嚥下圧検査
- b. 頸部聴診法
- c. 嚥下内視鏡検査
- d. 嚥下造影検査
- e. 改訂水飲みテスト

1. a、b 2. a、e 3. b、c 4. c、d 5. d、e

問 13 嚥下反射の惹起遅延に対し冷圧刺激を与える部位はどこか選びなさい。

1. 前口蓋弓
2. 口腔前庭
3. 硬口蓋
4. 喉頭室
5. 喉頭蓋谷

問 14 送り込み障害のある嚥下障害患者への最適な歯科的補助具はどれか選びなさい。

1. PAP
2. PLP
3. 総義歯
4. エピテーゼ

問 15 チューブ飲み訓練について書いた次の文で誤っているものを選びなさい。

1. 繰り返しチューブを嚥下することにより、嚥下反射の惹起性を改善させる
2. 喉頭拳上運動の速度を改善させる
3. 喉頭拳上運動の距離(変位量)を改善させる
4. 舌による送り込み運動や咽頭期嚥下運動の速度を改善させる効果も期待できる